学習内容報告書 フォーマット

学校名	西東京市立柳沢中学校
授業者	中島　有紀　　澤野 恵里花

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

探究活動　無脊椎動物の体はどうなっているのか

1-2.　学年

２年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4.　単元の概要

・これまでに学習してきた主にヒトなどの脊椎動物の体のつくりと，無脊椎動物の体のつくりを比べて，無脊椎動物の体のつくりを知り，またそこから無脊椎動物の体の働きを類推し，生きるための仕組みについて考える。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

・２年で学習する動物の体のつくりとはたらきで私たち哺乳類が属する脊椎動物のことを理解し、そのうえで、１年生で学習した「無脊椎動物」「動物の分類」を思い出し、共通するつくりや独特なつくりなど動物によって違うことを、解剖実習によって視覚的に理解する。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・実習技能を高める。 ・実際に見ることによって、理科に関する興味関心を高める。 ・不登校生徒でもオンラインによって、実習することができることで、自分にもできるという意欲を高めることができる。 ・同じ教室にいなくても、専門的なことを学ぶことができ、技能の向上がはかれる。 ・必要な情報を必要な時に得られる能力、そのことを正しく伝える能力。

1-7.　単元の展開（全２時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	無脊椎動物の分類のしかたについて明星大学の和田先生の指導を受け、無脊椎動物の体のつくりについて理解する。（パワーポイント使用）	・集中して話を聞いているか。 ・和田先生の質問に対して積極的に発言しているか。 ・イカのからだのつくりについて理解できているか。 ・外部連携＝明星大学　和田先生　／　パソコン
2	イカの体のつくりを観察し、解剖を行うことを通して、ヒトとイカの体のつくりの違いや共通点について考える。	・イカの生態やイカの解剖の仕方について能登里海研究所の浦田先生のオンライン授業で学ぶ。 ・生徒が浦田先生の話を集中して聞いていたか。 ・画面を見ながら、解剖をすることができたか。 ・生徒の興味・関心を引き出せたかどうかや、学習効果があったかどうかなどについて、アンケートをとって調査する。 ・外部連携＝能登里海研究所　浦田先生　／　タブレット、プロジェクター、スクリーン

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　2　時間中の　2　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2.　本時の目標

専門家による講義・実習により、より細かい知識を得て、いろいろな動物に興味を持たせる。
解剖実習による、実技能力の習得。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
オンラインの確認	
●イカに関する講義 イカに関するクイズ イカの動画	・画面に集中できているか。／先生の話を集中して聞いているか。
●イカの解剖 →道具の配布 →説明 →実習	・道具を取りに行く指示を出す。 ・説明をしっかり聞いているか。／画面に集中しているか。 ・画面を見ながら、解剖実習を行っているか。解剖図が書いてある下敷きを確認しながら作業できているか。／指示通りの順に作業ができているか。
●片付け	・指示通りに片付けができているか。
●まとめ	・話を聞いているか。貴重な体験ができた感謝の気持ちが持てているか。

3.　今回の活動の自己評価

・５０分ですべての活動を終えることができなかったことが反省点だが、生徒たちは解剖実習になったら、より集中して作業していたことがよかった。後ろ向きな生徒もいたが、作業が始まれば、指示に従ってやっていたので安心した。少しでも動物に関して興味をもってくれたらうれしい。当日しか生徒と直接関わることができなかったので、事前の授業や普段の授業でもいいので参加できればよかったと感じた。
・生徒との活動を通じて、自分自身も一緒にからだのつくりについて理解を深めることができた。大学機関や海洋教育の専門家等との連携の中で授業実践を行うことができ、貴重な経験ができた。協力していただいたみなさんに感謝している。

4.　今後の課題

・解剖ばさみ等専門的なことを学ぶための道具が不足していることがあったので、少しずつ補充していく。
・実際に触ることに関して苦手意識を持っている生徒がいたので、この実習までに貴重な体験であることやこの実習を通してここまで学習した生物の単元の理解が深まることを伝えられたらもっと充実した時間になったと感じた。
・学校のタブレット使用のため、うまくパワーポイントが動かず時間のロスがあったこと、理科室の通信環境を改善することが必要である。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・今回は２年生を対象にした授業だったが、１年生で無脊椎動物の勉強をするので、１年生の方が知識を定着させるにはいいのかとも感じた。２年生では動物のからだのつくりについて学ぶので、解剖することによってそのつくりについて理解が深まるかとも思う。その学校の生徒の実態に合わせて学年は選択したほうがいいのかと考える。

※実施した単元ごとに作成してください。
※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。
※基本レイアウト
　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20㎜、左右端 16㎜
※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。
　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1
※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。